広報 かるまい 8
平成26年（2014年） No.665

優勝、完走、自己ベスト
それぞれの目標に向かって

今月の主な内容

■スポーツで輝く軽米の夏 …… 2～3
■農業委員会だより …… 6～7
■軽米病院が総務大臣表彰 …… 8
■笹渡地区「おらほの学校」 … 9

― 第21回軽米町ちびっ子健康マラソン ―
（7月21日、ハートフルスポーツランド）

スポーツで輝く　軽米の「夏」!!

県民体育大会ゲートボール競技

軽米チーム総合優勝

東北選手権大会でも65歳以上の部で準優勝

第66回岩手県民体育大会のゲートボール競技が、7月5日と6日に花巻市の日居城陸上競技場で行われ、軽米町ゲートボール協会（下又善作会長）のメンバーで構成する軽米チームが見事総合優勝を飾りました。

同大会では65歳以上の部と年齢無制限の部に分かれて競技が行われ、総合点で順位を決定します。軽米チームは65歳以上の部で準優勝、年齢無制限の部で第3位と健闘し、総合点では各市町村のトップ成績となり、見事、岩手県の頂点に輝きました。

また、7月20日と21日の両日、福島県郡山市総合運動場で行われた第29回東北地域ゲートボール選手権大会に出場した軽米チームは、東北大会県民体育大会の勢いそのままに、65歳以上の部で見事準優勝を飾りました。

総合優勝を手にした軽米チームの皆さん（中央から左：年齢無制限の部、右：65歳以上の部）

チームメンバーは次のとおりです。（敬称略）

年齢無制限の部
奥谷克吉
田代寿麻
蛇口久夫
田澤忠孝
安藤ユウ子

65歳以上の部
大鳥福雄
山下正勝
日山一夫
中村幸助
奥谷誠四郎
田澤勝蔵

東日本実業団相撲選手権大会

古舘文明さんが第3位

八幡平市で7月6日に行われた東日本実業団相撲選手権大会で古舘文明さんが第3位に輝きました。

身長175㌢、体重130㌔の古舘さん。職場である二戸市浄法寺の株式会社夢実耕望の相撲部に所属し、県の強化選手に指定されています。古舘さんは、自らの稽古の傍ら、地元のスポーツ少年団のコーチとして子どもたちへの指導も行っています。

古舘さんが相撲を始めるきっかけとなったお父さんの義明さんは「やっと今、相撲の格言『心・技・体』のすべてが備わってきたと感じる。日々の稽古の積み重ねにより、自然な相撲が取れるようになった」と息子の成長に目を細めます。

7月13日に県営武道館で行われた県民体育大会でも3位に入賞し、8月に福島県の郡山市で開催されるミニ国体（東北総合体育大会）への団体戦出場をすでに決めている古舘さん。「勝ちにこだわりすぎずに、一番一番を大事に相撲を取ることを心がけています」と来る大会での勝利と国体出場を目指します。

古舘文明さん（28歳、萩田）

132人の熱戦

町総体パークゴルフ競技

第36回町総合体育大会パークゴルフ競技が7月13日にハートフル・スポーツランドで開催されました。町内から16チーム132人が参加し、熱戦が展開されました。各ブロックの上位結果は次のとおりです。（○に数字は順位）

【A】①桜山　②上舘連合　③本町
【B】①上新町　②萩田　③晴高
【C】①笹渡　②荒町　③向川原

勝利をめざしクラブを振る参加者たち

東北地区スポーツ推進委員功労者表彰

田中祐典さんが受賞

25年間の功績認められる

長年のスポーツ振興の功績が認められ、町のスポーツ推進委員の田中祐典さん（笹渡）が平成26年度東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を受賞しました。

田中さんは、平成元年4月に体育指導委員（現スポーツ推進委員）に就任以来、現在までの25年間、陸上競技を始め各種スポーツ活動の推進・指導に努め、当町のスポーツ振興に尽力してきました。

軽米町総合体育大会等の企画・運営においても、町民の健康・体力づくりの向上に寄与するなど、生涯スポーツの振興に貢献をしてきた田中さんは、平成10年には岩手県体育指導委員功労者表彰を受賞しています。

山形県大会実行委員会企画：株式会社日ヒ

田中　祐典（ゆうすけ）さん（笹渡）

希望郷いわて国体 2016
第71回国民体育大会　広げよう 感動。伝えよう 感謝。

タスキをつなぐPR駅伝

平成28年度の国体の開催を県下に広く周知するため、岩手県庁走友会が主催となり「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会PR駅伝」が7月19日に行われました。

軽米町から九戸村、葛巻町、岩手町とつなぐコースでは、軽米町陸上競技協会が参加。軟式野球競技の会場地であるハートフル・スポーツランドで竹澤勵（はげむ）同協会長が県国体実行委員会長からのメッセージを受け取りスタートしました。

軽米タクシー前と円子の野中バス停前を中継して軽米町内を駆け抜けたランナーたちは、沿道からの声援に応えながら、力走を見せました。

国体開会まであと785日（平成26年8月6日現在）

国体のタスキを付け町内を駆け抜けるランナーたち

～中学生スポーツの祭典～

～町内の力を１つに～
統合後初の中総体

６月。統合後初めての地区総体を迎えた軽米中学校。昨年までは絶対に負けられなかった相手が共に戦う仲間となり、同じ目標を目指した団体戦。同じチームの仲間となっても再びぶつかり合う個人戦。地区予選を勝ち抜いたチームは県大会でもさらに強い絆を見せてくれました。

生徒たちの暑かった夏、その勇姿をお伝えします。

二戸地区総合体育大会結果一覧（団体成績）			
野球	第３位		二戸市営大平球場
剣道男子	第４位		軽米町町民体育館
剣道女子	第１位	県大会出場	
卓球男子	第１位	県大会出場	一戸町体育館
卓球女子	第１位	県大会出場	
ソフトテニス男子	第２位		軽米町営運動場テニスコート
ソフトテニス女子	第１位	県大会出場	
バスケット男子	第３位		二戸市総合スポーツセンター
バスケット女子	予選リーグ敗退		
サッカー	第１位	県大会出場	ハートフル・スポーツランド
バレー	第３位		一戸中学校体育館

二戸地区総合体育大会結果一覧（個人成績） ※県大会出場者を紹介、会場は各競技団体戦と同会場		
剣道男子（個人）	浅水　公平	第２位
剣道女子（個人）	長内　雅	第１位
	小笠原　美紀	第２位
卓球男子（個人）	畑中　亮祐	第１位
	屋敷　空	第２位
	一條　豊樹	第３位
	鶴飼　新	第４位
卓球女子（個人）	野中　麻衣	第１位
	細谷地　彩乃	第３位
ソフトテニス女子(個人)	於本　虹愛 戸舘　里紗	第１位
	中村　文香 横澤　朱音	第２位

団体	岩手県中学校総合体育大会結果一覧（個人種目は名前を紹介）				
	剣道女子		ベスト８		二戸市総合スポーツセンター
	卓球男子		第３位		滝沢総合公園体育館
	卓球女子		ベスト16		
	ソフトテニス女子		１回戦敗退		一関市総合運動公園テニスコート
	サッカー		１回戦敗退		八幡平市中沢グランド
個人	剣道男子	浅水　公平	１回戦敗退		各競技団体戦と同会場
	剣道女子	長内　雅	１回戦敗退		
		小笠原　美紀	１回戦敗退		
	卓球男子	畑中　亮祐	ベスト16		
		屋敷　空	３回戦敗退		
		一條　豊樹	ベスト16		
		鶴飼　新	２回戦敗退		
	卓球女子	野中　麻衣	３回戦敗退		
		細谷地　彩乃	２回戦敗退		
	ソフトテニス女子	於本　虹愛 戸舘　里紗	ベスト16		
		中村　文香 横澤　朱音	１回戦敗退		
	陸上競技	上山　遥香	第７位	共通女子800メートル	北上陸上競技場
		上山　礼香	第７位	１年生女子1500メートル	

活動報告

「農地の日」の活動で耕作放棄地の再生作業

畑の中の木を伐採し、その枝を運ぶ農業委員

町農業委員会（日山一夫（かずお）会長）は、７月15日に「農地の日」の活動として、小玉川地区の耕作放棄地の整備を行いました。参加したのは農業委員16名。元は畑だったという土地は、農業を営む方がいなくなり草や木が生い茂っていました。特に長く大きく成長した木は、周りの田畑の日あたりにも影響を及ぼすため、農地の再生と保護の両面から取り組みました。

草刈り・枝払い・伐採・重機での抜根の作業を３時間かけて行い、約23アールの農地は再生への一歩を踏み出しました。

今回の「農地の日」の活動では、立木の伐採、抜根まででしたが、参加した委員からは「ソバなどを作付し、農地を有効に活用できるよう支援していきたい」と今後に向けた活発な意見が出されました。

作業開始から３時間、草木が生い茂っていた休耕地は見事、再生へ向け一歩踏み出しました

「農地の日」とは…

「農地の日」は岩手県の農業委員会系統組織（県農業会議、市町村農業委員会）が農地法が制定された７月15日に定めたものです。農業委員会では「農地の日」の活動を通して、皆様に農地・農業が果たしている役割や機能を理解していただければ、と考えています。

農地を転用するには農地法の許可が必要です

農地転用とは？

農地を住宅や工場等の建物敷地、資材置場、駐車場、山林などの農地以外の用地に転換することです。

農地を一時的に資材置場や砂利採取場等に利用する場合も転用になります。

転用許可の判断は？

農地の立地条件（生産力の高い農地ではないか）、事業実施の確実性（資力や信用、他法令の許認可見込みがあるか）、周辺農地への影響（土砂流出、日照不足を生じさせないか）などの基準から転用の可否が判断されます。

違反転用などをした場合は？

農地法に違反することとなり、工事の中止や原状回復の命令がされる場合があります。

農地の転用を計画される場合は？

工事を始める前に許可を受けなければなりません。農地ではないと思っている土地でも、手続きが必要な場合がありますので必ずご確認ください。

◆違反転用などへの罰則

１．違反転用	罰則
２．違反転用における原状回復命令違反	３年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人は１億円以下の罰金）

農業者年金

老後の安心に加入しませんか？

平成14年からスタートした、積立方式のいわゆる「新農業者年金」は農業者の方であれば広く加入でき、自分が積み立てた保険料と、その運用実績により年金額が決まる確定拠出型の年金です。

◎だれでも加入できますか？

国民年金の第１号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方ならどなたでも加入できます。農地の所有や性別は問いません。

◎保険料はいくらになりますか？

保険料の額は月額２万円から６万７千円までの間で、千円単位で自分で決められ、いつでも見直すことができます。

◎脱退したらどうなりますか？

脱退一時金は支給されませんが、加入期間にかかわらず、支払った保険料は将来、年金として受け取れます。また、脱退後の再加入もできます。

◎年金は生涯支給されますか？

年金は生存中必ず決まった額が支払われる終身年金です。仮に受給者が80歳前に亡くなった場合でも80歳までに受け取るはずであった農業者老齢年金相当額が死亡一時金として遺族に支給されます。

◎農業者年金のメリットは？

支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税効果につながります。また、認定農業者で青色申告をしているなど、農業の担い手となる方は国庫から月額最高１万円の保険料補助を受けられる場合があります。

【農業に関する相談・お問い合わせ】
各地区の農業委員または農業委員会事務局（☎４６－４７３９）までご連絡ください

農地中間管理事業

スタートしました！

公益社団法人岩手県農業公社（農地中間管理機構）は、農地中間管理事業により担い手への農地集積・集約化を進めています。

事業の仕組み

出し手 → 農地 → 貸付け

岩手県農業公社（農地中間管理機構）

①農地を借り受け（農地中間管理権）
②必要な場合は基盤整備等の条件整備を実施
③担い手（マスタープランで位置づけられた認定農業者などの中心経営体等）がまとまりのある形で農地を利用できるように配慮して貸付け
④貸付けるまでの間、農地として管理

農地 → 借受け → 受け手

出し手（農地を貸したい方）

・地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金等の支援があります。
・産業振興課又は農業委員会へお問い合わせ下さい。

受け手（農地を借りたい方）

・募集期間８月１日から８月３１日
・公社ホームページをご覧になるか、産業振興課又は農業委員会へお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】
岩手県農業公社（☎019-651-2181、ホームページアドレス　http://www.i-agri.or.jp/）
または産業振興課（☎46-4739）まで

県立軽米病院 自治体立優良病院 総務大臣表彰を受賞

平成26年6月18日。県立軽米病院が自治体立優良病院総務大臣表彰に選ばれました。昨年受賞した全国自治体病院開設者協議会と全国自治体病院協議会の両会長表彰に続く全国表彰です。

喜びの表情で総務大臣表彰の賞状と記念品の楯を持つ横島孝雄院長（左）と山本事務長（右）

今回の受賞について、横島孝雄（たかお）院長インタビューをご紹介します。

Q．自治体立優良病院総務大臣表彰とはどのような賞なのですか？

A．過去5年間に渉って不良債権と累積欠損金がなく、黒字経営が続いていることが受賞条件です。また、昨年いただいた全国自治体病院開設者協議会と全国自治体病院協議会の両会長表彰を受賞した病院の中から選ばれます。

Q．県立病院においての経営努力とはどのようなものがあるのですか？

A．入院用の設備を備えている病院は入院病床が有効に使われないと黒字にならない。まずは病床利用率の確保が第一です。軽米病院には2階と3階に病棟がありますが、以前はベッドの開きが多く、平成16年くらいには2階病棟を無くす計画がありました。しかし、ちょうどその頃、病院ごとに急性期と慢性期に機能を分担する流れができてきたので、平成15年に2階病棟を療養病床を持つ慢性期病棟にしました。慢性期病床というのは入院期間の制限が少なく、リハビリなどを含めて、ゆっくり丁寧に看られます。そのため、急性期から慢性期に移った患者の紹介を外から受けやすくなります。それまでは入院患者の9割が町内の方でしたが、療養病床を導入してからは4割が町外の方です。結果として病床利用率が上がり、赤字にならずにすんでいます。常に意識しているのは、この病院は軽米だけの病院じゃない、県北全体の病院なんだ、ということです。

Q．福祉や地域との関わりも充実されていると思いますが？

A．保健医療福祉連絡会というのがあって、病院と役場の保健師や包括支援センターを含めて町内のすべての介護関係の施設の人が参加しています。月1回行われる会議の場で、退院してからどこでどうやって看ていくのか話し合います。例えば自宅に帰っても家族がいない人はどうすればいいかなどで、これはとてもよい場だと感じています。

また、夜の健康教室や小児健康教室（にこにこ教室）なども行っていて、そういった活動が地域との関わりになっていると思います。

Q．これからの軽米病院の方向性や院長先生の考えをお聞かせください。

A．地元における1次・2次医療としての役割と、県北の正規医療を担っていきたいと考えています。軽米病院が今後、特別に変わっていくというわけではないのですが、こうして表彰を受けたことをきっかけに、町内の方々にも病院の状況を理解していただき、有効に利用してもらいたいです。

- 累積欠損金…その年だけでなく過去の累積による赤字
- 急性期…病気のなり始め、症状の比較的激しい状態
- 慢性期…病状が安定しており、長期入院が必要な状態
- 1次医療…風邪や腹痛などの日常的な疾病
- 2次医療…専門性の高い外来医療や一般的な入院医療

「おらほの学校」

～笹渡地区で閉校校舎の敷地内を奉仕作業～

6月29日、旧笹渡小中学校で校庭の草刈り、草むしり、花壇の手入れなどの奉仕作業が行われました。参加したのは笹渡地区のほぼ全ての世帯で、90人を超える人たちが朝の5時から取り組みました。中心となって呼びかけたのは『笹渡地区学校活用検討委員会』。代表の鶴飼勝美さん（鶴飼）は「学校としてはなくなってしまったかもしれないが、地域のみんなが集まる貴重な場所であることに変わりはない。また、防犯の意味でも校舎やその周辺はきれいにしていなければいけない。町の施設だからと行政任せにするのではなく、自分たちの地区を自分たちで守っていくということが大切になってくると思う」とコメント。また、「今回こういった活動ができたのは、若い人たちの力も大きい。集会のときに話を出したら、すぐにやろうやろうという賛同の声をもらった。縦のつながりと横のつながり、どちらも強いのが笹渡のいいところだと思います」と地域住民同士の連携の強さも教えてくれました。

手分けして校庭や斜面の草刈りをする笹渡地区の皆さん

終盤は小雨も降り出す中、作業は2時間ほどで終了。校舎の周辺だけでなく、校庭の脇の法面など、隅々まできれいになりました。

笹渡地区学校活用検討委員会は、閉校事業の実行委員会のメンバーらが中心となり、今年度新たに立ち上げられました。今回の奉仕作業のような環境美化や保全活動のほか、校舎そのものを地域交流の施設、地域活動のための施設として、その活用方法などを考える場となっています。

笹渡小中学校閉校記念の碑、その一番上にひときわ大きな文字で記された「おらほの学校」。閉校後も、この校舎がいつまでも地域のコミュニティの中心の場であることと、そして自分たちの地区を自分たちでよくしていくのだという地域の方々の熱い気持ちを感じることができました。

笹渡小中学校の閉校記念の碑に記された「おらほの学校」

警察協力者に感謝状贈呈

内澤さん、門前さんに授与

長年の地域の安全・防犯活動などにより警察に対する協力が認められた個人や団体に贈られる平成26年度警察協力者感謝状の贈呈式が7月1日岩手県二戸警察署で行われ、内澤寛治さんに岩手県警察本部長感謝状が、門前克男さんには二戸警察署長感謝状が、勝又薫二戸警察署長よりそれぞれ贈られました。

岩手県警察本部長感謝状は内澤さんのほか二戸地区では2人に贈られ、二戸警察署長感謝状は6団体と門前さんを含む12人に贈られました。

内澤さんは、二戸地区交通安全協会軽米分会（圃田喜一分会長）の設立当初からのメンバーで、現在は副分会長を務めています。交通指導隊（永井美保子隊長）や交通安全母の会（工藤佐紀子会長）の皆さんとともに、地区や学校での交通安全教室など様々な普及活動により交通安全に対する啓発を行っています。

門前さんは、平成18年からスクールガードとして、平成25年からは新たなスクールガード「見守り隊」の一員として通学路に立って登下校中の子どもたちの安全を見守るだけでなく、地域の安全、子どもたちを犯罪から守るための啓発活動にも積極的に参加しています。

内澤　寛治さん（上舘）

門前　克男さん（門前）

～県立軽米病院へ 感謝の環境整備活動～

町議会町政調査会（川原木賢一）は7月19日、日ごろ町民がお世話になっている県立軽米病院（横島孝雄院長）への感謝と応援の気持ちを込めてボランティアによる環境整備活動を実施しました。

参加したのは、町議会議員とシルバー人材センターの会員総勢50人。敷地内に植えられているコブシ、ナナカマド、サクラなどの枝の剪定や、花壇の草取り、駐車場や建物周辺の下刈、そして取り払った枝や草の運搬撤去までの作業をおよそ3時間かけて行いました。

下刈を終え、草を集める参加者

川原木賢一会長は「今回の環境整備によって、よりきれいになった病院を訪れる患者さんやご家族の方の心の健康、体の健康の一助となればと思う。昨年に引き続きシルバー人材センターの皆さんにもご協力いただきたいへんありがたい。最終的には町民の皆さんにも取り組んでもらえるよう、今後も続けていきたい」とさらに活動の輪を広げていきたいと意欲的に話していました。

同院の横島孝雄院長は「このような活動をしていただける病院は県内でも珍しく、県下に誇れる活動だと嬉しく感じます。職員はもちろん、病院を訪れる患者さんたちもとてもきれいになったと喜んでいます。軽米病院が地域の皆さんに支えられていることをいちばん目に見える形で実践いただいた」と病院を支える活動に感謝していました。

運び出した枝や草は軽トラック30台分にもなり、参加者たちは配られたお茶を飲みながらきれいに整備された景観に笑顔を見せていました。

剪定した枝は軽トラックに積み込みます

第39回岩手県消防操法競技会
軽米町消防団第８分団第１部が準優勝

矢巾町の岩手県消防学校で7月27日、岩手県消防操法競技会が行われ、軽米町消防団第8分団第1部が見事準優勝に輝きました。

先月軽米町で開催された二戸支部大会を勝ち抜いた軽米町消防団は、さらに一か月間の練習を重ね、スピードよりも正確な動作の修正に取り組んできました。県大会でもその力を十分に発揮しました。

会場は気温の高さに加えてアスファルトからの照り返しも激しく、さらには風が強い厳しい条件での競技となりました。

そんな中で持ち前のスピードと正確な動作で優勝の大船渡市消防団に次ぐ準優勝を手にした軽米町消防団。長期の練習を支えてくれた家族や仲間に感謝し、次回の県大会での優勝、そして全国大会への出場をめざします。

出場選手（敬称略）
指揮者　小林一幸
1　上村　司
2　下谷地由章
3　瀧澤仁志
4　山野下利樹
数字は番手番号

～近い未来のために～

- 軽米高校生徒が職場体験 -

軽米高校の２年生９人が町内の事務所を訪問し、７月２４日から３０日までの期間に職場体験を行いました。

小笠原　千怜（ちさと）さん
（花の里かるまい）

将来、介護の仕事に就きたいので、今経験しておこうと思いました。
介護は想像よりも難しかったけれど、楽しいです。

駒目　慎之介（しんのすけ）くん
（コメリ軽米店）

販売関係の仕事に就きたいので、ここで練習しておきたいと思いました。
商品並べなど、やってみると楽しいです。

並岡　駿斗（はやと）くん
（高常自動車工業）

整備など思っていたより難しいけれど、楽しかったです。
小さい頃から自動車に興味があり、将来この職業に就きたいと思っています。

中里　彩香（さやか）さん
（旅館瀧村屋）

旅館だから、料理や掃除など多くの仕事で大変だけれど、職場の人が優しく楽しいです。
多くの仕事をこなす職業を体験してみたいと思いここを選びました。

工藤　一樹（かずき）くん
（ミル・みるハウス）

身近にあるミル・みるハウスに興味があり、ここで働いてみたいと思いました。
働いてみると思っていたより大変だと感じました。

小野寺　蓮（れん）くん
（二戸消防署軽米分署）

将来は消防士を目指しているので、ここで勉強していこうと思いました。
体験してみると思っていた以上に大変だということが伝わりました。

田中　秀幸（ひでゆき）くん
（軽米保育園）

働いてみたかったのと、社会勉強として体験しておきたいと思いました。
実際に体験すると結構大変でしたが、楽しかったです。

山崎　達人（たつと）くん
（ユニバース新三光ストア軽米店）

運送業か販売業に就職したいと思っています。
どの棚にどの商品が並んでいるのか探すのは大変だったけど自分にはあっている気がする。

私が取材しました！

山下　沙織（さおり）さん
（軽米町役場）

将来は、公務員を目指しているので、いろいろ学んでおきたいと思いました。
取材して回ったり、資料作りをしたりと大変でしたが楽しかったです。

事業所の皆さん、ありがとうございました！

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

鳴尾監督の教えに真剣な眼差しで聞き入る子どもたち

岩手のプロチーム監督の教え

グルージャ盛岡監督がサッカー指導

プロサッカーリーグＪ３に所属する岩手のチームグルージャ盛岡で指揮を執る鳴尾直軌（なおき）監督が７月３日ハートフル・スポーツランドで小中学生のサッカースポーツ少年団に指導を行いました。グルージャ盛岡のサッカー普及活動の一環で行われたこの事業では、ワールドカップの公式球を使ってのシュートやパスといった基本練習から、鳴尾監督自ら１・２年生チームに加わってのレギュラーチームとのミニゲームなども行い、より実践的な指導に子どもたちはさらなるレベルアップを目指しました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

映画「ゴジラ」のテーマ曲などの作曲家で、音更町にゆかりのある伊福部昭氏の音楽記念碑リニューアルセレモニーなどが音和の森で開かれ、関係者６０人が出席しました。記念碑の前でテープカットを行った後、伊福部氏作曲の音更町歌が披露されました。

テープカットには長女の伊福部玲さんも参加しました

自分たちの手で道路を

ユイコのケアドー事業

地域住民らが主協働により行う身近な道路舗装整備を支援する「ユイコのケアドー事業」が地域住民約１２名参加のもと７月27日、新大鳥地区で行われました。区長の坂下忠雄さんは「神社やお墓に通じる道路なので、舗装されるとお年寄りたちもとても助かる。小さい地区だからこそ事業への積極的な呼びかけと参加ができる」と、より快適になった道路に笑顔を見せていました。

道路の舗装を行う新大鳥地区の皆さん

安全の要、建設も安全に

二戸消防署軽米分署安全祈願祭

二戸消防署軽米分署建設工事の安全祈願祭が７月14日、現在の分署の隣の建設予定地で行われました。山本町長は「新たな軽米分署は皆様の安心・安全を守ることはもちろんのこと、各種訓練や啓発活動を行うための設備も充実しています。工事関係者各位には、十分な現場管理と安全対策をお願いします」と挨拶しました。新しい軽米分署は平屋建ての鉄筋コンクリート造りで、建築面積は542.09平方メートル、総工事費１億9,500万円で来年２月に完成予定です。

菅原皓文（あきふみ）宮司より修祓（しゅうばつ）の儀を受ける工事関係者一同

牛乳を飲み比べ、味の違いを感じる児童たち

こっちの牛乳は甘いよ！

酪農出前講座

軽米小学校の３年生が７月８日、岩手県牛乳普及協会主催の酪農出前講座を受けました。乳牛の体の特徴や牛乳が食卓に並ぶまでの行程、牛乳の栄養について学んだ後、殺菌温度の異なる３種類の牛乳を飲み比べ「こっちのは、さっきのより甘い！」と味の違いに驚いていました。また、実習では生クリームからのバター作りに挑戦し、容器を懸命に振ってできたバターをパンにつけて食べると「家で食べるバターよりおいしい」と笑顔を見せていました。

カウンターで本の貸し出しの仕事を体験する子どもたち

みんなにも読んでほしい

児童図書館司書講座

子どもたちの読書活動を推進するリーダーを子どもたちの中から育てようと、軽米町子ども司書講座が開催され、７月19日に開講式が行われました。今回参加した３人の児童は「読書活動のリーダーをめざしたい」「家族や友だちに読書の楽しさを伝えたい」と意欲十分。今年で３期目となる講座は年５回にわたり町立図書館や県立図書館で開かれ、図書館の仕事や本について学び、認定証書の取得をめざします。

次は2,000日達成をめざして

交通死亡事故ゼロ1000日達成表彰

町内での交通死亡事故が発生しない継続日数が６月28日で1,000日を数え、７月７日に県交通安全対策協議会（達増拓也会長）から表彰状が贈られました。表彰を受けた町交通安全対策協議会会長の山本町長は「この表彰を受けられたのは、交通安全に対する皆様の意識と活動のおかげです。次は2,000日をめざし頑張っていきましょう。」と次の目標を掲げ、交通安全を呼びかけました。

表彰状と楯を受け取り、次の目標を誓う町の交通安全関係団体の皆さん

ワールドカップのボールを

ゆうちょ銀行サッカーボール寄贈

2014ＦＩＦＡワールドカップブラジル大会の公式スポンサーであるゆうちょ銀行が郵便局に展示してあった大会公式球「ブラズーカ」のレプリカを町内の小学校に贈りました。小軽米小学校には６月26日、軽米小学校には７月２日、晴山小学校には７月８日にボールが贈られました。晴山小学校６年の古里紘己（こうき）くんは「友達とたくさんサッカーをしたい。大切に使います」と駒澤幸彦（ゆきひこ）晴山郵便局長からボールを受け取りました。

駒澤晴山郵便局長（左）からボールを受け取る古里紘己くん（右）

笑顔あつまれ！　みんなの広場

キラキラ光る

仕事は難しい。でも、やりがいがあります。

平　美咲（みさき）さん
（21歳、河北）
身長153㌢、B型
サン・ケア南部薬局勤務

軽米高校を卒業後、専門学校で調剤事務の資格を取得し、今年の4月から南部町の薬局で勤務している平さん。

Q、自分の性格を一言でいうと？
　マイペース。

Q、今の職業を選んだ理由は？
　お母さんに勧められたのがきっかけです。実際に働いてみると、難しいけどやりがいを感じています。

Q、趣味や休日にやることは？
　友達と買い物に出かけたり遊んだり。家にいるときは漫画を読むのも好きです。

Q、あなたの夢は？
　かわいいネコと一緒に暮らしたい。

Q、町をどう思いますか？
　自然が豊かで、勤務地（南部町）とも似ています。静かで落ち着きます。

▼好きな色…赤
▼好きな花…バラ
▼好きな食べ物…冷麺
▼今欲しいもの…ネコを飼いたい
▼理想の異性のタイプ…爽やかで清潔感があって強い人。有名人だとフジテレビアナウンサーの中村光宏さん。

今月の俳句（北光吟社6月例句会）

短夜（みじかよ）の兄の詩集を読みふける　中野　とき子
道端の行列なしてあやめ咲く　丹下　美恵子
もつれ合ふ紋白蝶の野菜畑（やさいばた）　千葉　紅園
道を問ふ一期一会（ご　え）や夏の旅　川崎　郁子
初茄子の一本なれど足りてもぐ　早川　慶子
梅雨晴や市日へ急ぐ人等かな　川島　由蔵
余念なく菜園手入れ梅雨晴間（つゆはれま）　三上千栄女
朝影を舗道に描き夏燕　松村　英子
久々の亡き母の夢盆近し（ひさびさ）　中田　紀子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

目標、8位以内!!

■夢・希望・えんぴつ■

小軽米小学校4年
向屋敷　萌（もえ）さん
（笹渡）

7月21日に、軽米町ちびっ子健康マラソン大会がありました。

1年生で出場した時、8位でした。これが、今までの最高順位で、去年も8位以内を目標にがんばりました。でも、結果は10位以内にも入ることが出来なくてとてもくやしかったです。

なので、今年こそはと、ただ走るだけではなく、お父さんにタイムを計ってもらって、1日1日のタイムを縮められる様にしたり、本番の会場に行って走ってみたりしました。

毎日いっしょに練習してきた妹は、一番のライバルです。学年や走る距離はちがうけれど、順位で負けるとくやしいです。妹が走っている時は、おうえんしたい気持ちもあるけれど、やっぱり負けたくないです。

大会当日、先に走った妹は転んだのに4位に入りました。「すごい」と思いながらも「負けられない」と気合が入りました。走っている時、追いこしたり追いこされたりのくり返しだったけれど、ラストスパートで4人をぬいて7位に入りました。

目標を達成する事が出来てうれしかったけれど、もっと上位を目指して、今度こそは妹にも負けないように、秋のS＆Bマラソン大会に向けて、練習をもっと頑張ります。

軽米の埋もれし宝 68

～最新の発見されし宝⑥上平5遺跡の動物形中空土製品～

今回は、先月に調査を終了したばかりの上平5遺跡の調査成果を紹介します。

上平5遺跡は、山内地区の谷地渡集落の西側、谷地渡公民館の西200mに位置します。標高は244m前後の折爪岳東麓の緩やかな東向き緩斜面に立地します。

町道上平線の道路改良工事に伴い、道路の拡幅部分約150㎡を本年6月中旬～7月中旬に記録保存のため発掘調査を行いました。

調査の結果、直径6m程の竪穴住居跡1棟を検出しました。時期ははっきりしませんが、縄文時代後期頃と推定しています。

また、この調査では非常に珍しい「動物形中空土製品」と分類されるものが出土しました（写真）。形は水滴（すいてき）やいちじくのように一方が丸く膨（ふく）れています。長さ89㍉、幅56㍉、厚さ29㍉ほどで、手のひらにすっぽり納まるほどの大きさです。中空というのは、中に空洞（くうどう）があるという意味です。

上平5遺跡出土の動物形中空土製品

膨れた方には紐（ひも）を通せる孔（あな）もあります。また、細（ほそ）る方には内部の空洞に繋がる直径3㍉ほどの孔が空いており、ここに息を吹き込むとかすかに音が鳴りました。よって、これは首から吊（つ）り下げたペンダントや「土笛（つちぶえ）」ともいうことができそうです。

この土製品が出土した住居跡上部の覆土（ふくど）からは縄文晩期後葉（約3500年前）の土器が大量に出土しています。土偶や土製品に詳しい岩手県立博物館の八木勝枝（かつえ）専門学芸員によると、中空の土製品を作る技術は縄文晩期以降に見られるそうですので、おおよそその頃に作られたと考えられます。

このように欠損（けっそん）の無い完全な形での出土は大変例が少なく、貴重な発見となりました。

（教育委員会学芸員　藤田直行）

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～夏季における水難事故防止について～

例年、夏季は水の事故が多く発生しています。

昨年（７月～９月）、岩手県内で発生した水の事故は14件で10人の方が亡くなっております。

これから、水辺で遊ぶ機会が多くなりますので、皆さんで注意して子どもを水の事故から守りましょう。

１．子どもだけでは、水辺で遊ばせない！
２．子どもを自分の視界から離さない！
３．通学路や自宅の周辺などの安全確認を！
４．用水路は大変危険！

危険な場所で遊んでいる子どもを見たときは、「危険な理由」を教えて安全な場所で遊ばせましょう。

※死亡事故ゼロ1,000日を達成しましたが、飲酒運転は県下でもワースト４（５月末現在）になっています。飲酒運転は絶対やめましょう！

６月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	１件	６件	6
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	１人	７人	7
物損事故	６件	85件	7
救急車出動回数	34回	213回	19

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります。

▶飲酒運転検挙者　50代男性（大字軽米）

文夫に育つ　元気に働く　健やかに老いる

健康福祉課（☎４６－４１１１）

食中毒予防について

健康福祉課
上席主任栄養士
日山　愛子

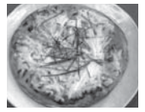
気温や湿度が高い夏場は食中毒菌が増えやすく、一年で最も食中毒の発生が多い時期です。食中毒を防ぐには菌を食べ物に「付けない」付着した菌を「増やさない」付着した菌を「やっつける」の３つが原則となります。菌を付けないためにはよく洗いましょう。菌を増やさないためには、食品は消費期限を確認し、新鮮な物を購入しましょう。要冷蔵や冷凍食品は最後に買い、すぐに持ち帰って冷蔵庫に入れましょう。冷蔵庫内でも菌はゆっくり増殖するので、過信せず早めに食べることが大事です。菌をやっつけるためには、殆どの菌は熱によって死滅するので、中心まで加熱することが大事です。７５度で１分以上が目安です。また、調理器具も、特に肉や魚に使った後は洗剤でよく洗って熱湯をかけて殺菌しましょう。台所用殺菌剤の使用も効果的です。以上のことに気をつけて食中毒をおこさないように気を付けましょう。

（広告スペース）

歓迎します!!

“かるまい共通商品券”

ダッタンそば粉入り
「そばかっけピザ」



雑穀弁当・仕出し・宴会
食事処 内まる屋（TEL４６－２３１８）兄さんの18番

２５周年記念イベント

ご注文３万円以上の方に
さるなしの雫プレゼント！

お膳・折詰・弁当
お気軽にご要望ください
☎４６－３６８０

あじさい
味彩

※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

目指そう！はつらつ人生

地域包括支援センター（☎４６－４１１１）

在宅での介護の食事を学ぼう！

県立軽米病院と町共催による家族介護者教室が、7月16日(水)健康ふれあいセンターで行われ、自宅で介護を行っている介護者の方や施設職員ら42人が参加しました。

講師は、県立軽米病院の主任管理栄養士の佐々木葉子さん、作業療法士の野辺地智美さん、看護師の村井由美子さん。介護の食事の作り方、食べるための正しい姿勢、食事介助のコツについて、写真や動画も交え丁寧に説明がありました。

参加者からは「わかりやすく、具体的な内容だった」「また参加したい」、施設職員からは、「新たな気持ちで介護の勉強になった」などの感想が聞かれました。

また、介護者のつどい「ゆったり介護の会」会長の竹澤ユヲ子さんからは、介護体験談と共に会への参加が呼び掛けられ、「介護者さんの力強い体験談を聞く事ができ、私も会へ参加してみたい」などの感想がありました。

県立軽米病院と町共催の家族介護者教室は年2回開催され、次回は11月開催予定です。

「ゆったり介護の会」は、毎月第2水曜日防災センターで開催しています。(8月は、都合により20日開催予定)

お問い合わせは健康ふれあいセンター内　地域包括支援センター（☎４６－４１１１）まで。

映像を交えた講師の話を真剣に聞く参加者たち

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

図書館利用案内

貸出冊数：１人10冊まで　　貸出期間：２週間以内
どなたでも利用できます。お気軽にご利用ください。

ー今月の新刊ー

【児童書】

12にんのいちにち

（あすなろ書房）

作/杉田比呂美

サッカー好きの男の子、パン屋さん、消防士、テレビの記者、元気な看護師さんに赤ちゃん…。ある町の12人の1日を2時間ごとにたどっていく、楽しい絵さがし絵本です。

ハカバ・トラベルえいぎょうちゅう

（BL出版）

作/柏葉幸子　絵/たごもりのりこ

てらまち商店街にある小さな旅行社は、「ハカバ・トラベル」と呼ばれています。なぜって、ときどき幽霊のお客さんがやってくるんです…。

【一般書】

きみまろ「夫婦川柳」傑作選

（小学館）

編/綾小路きみまろ

「別腹」が外から見える妻の腹／「メシと風呂、どちらにする？」とオレが聞く／女房の顔を見るたび「不整脈」…爆笑の夫婦川柳 180 句を収録した傑作選です。

ひかげ旅館へいらっしゃい

（早川書房）

著/加藤元

母と別れた父が亡くなったとのしらせを聞いたなるみ。意を決して父が経営していた旅館を訪ねてみると、そこにいたのは傷心も忘れてしまうほど個性的な従業員とお客だった…。

町のこよみ・かるまいカレンダー

8月　August

16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	ゆったり介護の会【防災センター】13：30～ ３歳児健診【ふ】13:00～13:30受付
21	木	はつらつ教室【公】13：30～
22	金	
23	土	震災復興支援「ピンポンフェスタｉｎＫＡＲＵＭＡＩ」～24日（体）
24	日	町総体軟式野球競技【軽米中学校グラウンドほか】8:10～
25	月	夏休み作品展【軽米小】（～9/5日）
26	火	
27	水	
28	木	児童生徒英語発表会【軽米小】 はつらつ教室【公】13：30～
29	金	
30	土	
31	日	休日と夜間の納税相談【税務会計課】（～9/2日）

9月　September

1	月	町税の納期限（町県民税第2期、国民健康保険税第2期）
2	火	
3	水	乳児健診【ふ】13:00～13:30受付
4	木	はつらつ教室【公】13：30～
5	金	
6	土	
7	日	町総体グラウンドゴルフ競技【ハ】
8	月	
9	火	転倒予防セミナー【環】13:30～
10	水	
11	木	はつらつ教室【公】13：30～
12	金	
13	土	軽米秋まつり【町中心街】（～15日） 敬老会【体】10:00～
14	日	消防演習【軽米中グラウンド】7:30～
15	月	

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

「夢」づくり少年野球教室
（ハートフル・スポーツランド、６月29日）

今回の先生は、昨年から指導いただいている倉持明さん

そして、千葉ロッテマリーンズを日本一に導いた西村徳文さん

練習の後は、サインボール争奪じゃんけん大会

最後にみんなで記念撮影

お知らせ情報 Information

もっと知ろう みんなの国民年金

新成人の皆さんへ　20歳になったら国民年金

みなさんは、国民年金について考えたことがありますか？「年金なんてまだ関係ない」と思っていませんか？日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、保険料を納めることになっています。

国民年金は、老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やケガで障害が残ったときや、一家の働き手が亡くなったときなど、あなたや家族を守ってくれます。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともあります。「あの時に・・・」と後悔する前に、国民年金に加入しましょう！（20歳前に就職して厚生年金等に加入している方は、第2号被保険者となっていますので、加入手続きは不要です。）

なお、学生であるなど、収入が少ないために保険料が納付できない場合は、申請により保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。

※詳しくは、二戸年金事務所（☎23-4111）または町民生活課（☎46-4734）にお問い合わせください。

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

二戸クリニック（☎25-5770）	二戸市石切所	8月17日（日）	森川歯科医院（☎23-6361）	二戸市堀野
金田一診療所（☎27-2205）	二戸市金田一	24日（日）	菅歯科（☎23-5161）	二戸市福岡
すがわら消化器内科（☎23-2879）	二戸市福岡	31日（日）	沢藤歯科医院（☎25-4002）	二戸市堀野
むらかみ医院いたみのクリニック（☎48-1500）	軽米町岩崎	9月7日（日）	堀米歯科医院（☎46-2927）	軽米町本町
よこもり眼科クリニック（☎27-2205）	二戸市金田一	14日（日）	小野寺歯科医院（☎33-3050）	一戸町高善寺
千葉耳鼻咽喉科医院（☎23-2009）	二戸市福岡	15日（月）	ますだ歯科クリニック（☎26-8282）	二戸市石切所

相続に関する無料相談

相続に関する手続きは、時間が経つと解決が難しくなるケースがあります。当会では下記のとおり「相続に関する無料相談」実施期間を設定します。お気軽にご相談ください。

【実施期間】
８月１日～８月２９日まで
【常設相談】
県下、各会員事務所
【電話相談】
（☎０１２０－８２３－８１５）
※午前10時から午後１時（土曜、日曜）及び13日～15日を除く
【問い合わせ先】岩手県司法書士会事務局（☎０１９－６２２－３３７２）

多重債務相談窓口

東北財務局盛岡財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。相談は秘密厳守・無料です。お気軽にご相談ください。

相談専用電話：（☎０１９－６２２－１６３７）
時間：平日（祝日、年末年始除く）午前８時30分～午後４時30分
【問い合わせ先】盛岡市内丸7-25 盛岡合同庁舎４階　東北財務局盛岡財務事務所理財課（☎０１９－６２５－３３５３）

ＮＨＫ学園生徒募集中！

ＮＨＫ学園では、通信制の高等学校普通科、および生涯学習通信講座の生徒・受講者を募集しています。まずは、無料の案内書をご請求ください。

【募集内容】
平成26年度高等学校普通科（３年制）生徒、および生涯学習通信講座受講者
【出願期間】
高等学校普通科
　転入学：11月20日まで
　後期新・編入学：９月30日まで
生涯学習通信講座：通年受付
【資料請求】
（☎０１２０－０６－８８８１）
【問い合わせ先】ＮＨＫ学園
（☎０４２－５７２－３１５１）

二戸病院祭を開催

県立二戸病院では、地域の皆さんと病院スタッフが交流し、病院について理解を深めていただくため、病院公開を行います。

市民公開講座や病院の設備・医療器械・仕事の紹介をはじめ、楽しく健康に役立つ企画を盛りだくさん用意しています。お子さんからご高齢の方まで、皆さんお誘い合わせのうえお越しください。参加は無料です。

日時：８月３０日（土）
　　１０時～１５時
場所：岩手県立二戸病院
【問い合わせ先】岩手県立二戸病院事務局（☎２３－２１９１）

岩手県農業研究センター県北農業研究所一般公開

当研究所と県北家畜保健衛生所及び中央農業改良普及センター軽米普及サブセンターでは、多くの方々に業務内容・成果を知っていただき、農業をもっと身近に感じていただくために、合同で一般公開デーを開催します。

日時：平成２６年９月５日（金）
　　９時～１５時
　　９月６日（土）９時～１４時
場所：岩手県農業研究センター県北農業研究所
テーマ：「みんなで応援 被災地復興、創ろう豊かな県北農業」
【問い合わせ先】岩手県農業研究センター県北農業研究所（☎４７－１０７２）

離職者を対象とした再就職訓練実施

科名：介護事務科
内容：訪問介護、居宅介護の養成研修、ケアクラークの技能研修
期間：９月18日（木）～12月17日（水）
会場：二戸地域職業訓練センター
定員：15名
申込期限：８月29日（金）
【問い合わせ先】二戸高等技術専門校（☎２３－２２２７）

（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

広報
かるまい8
平成26年
8月号
(No.665)

冠婚葬祭　6月分
＜敬称略＞

おめでた
（　）内は父母の名

河北　工藤　瑛俊（えいしゅん）（昌也・希真恵）
大清水　赤羽　悠馬（ゆうま）（功自・みどり）
元屋町　佐々木　葵梨（あいり）（裕之・幸恵）

おしあわせに

古舘　健吾（萩田）
中里　未稀（上尾田）

おくやみ
（　）内は享年

蜂ヶ塚　松浦　三吉（70歳）
松ノ脇　松山　ミヨ（94歳）
貝喰　小林　ハナ（82歳）
下増子内　福田　ミヨ（90歳）
下円子上組　坂本　アサ子（65歳）
牛ヶ沢　中村　勝久（73歳）
駒板　田代　菊次郎（81歳）
下円子上組　泉山　テル（67歳）
沼　小笠原　フミヨ（84歳）
上舘　小笠原　タヨ（83歳）
横枕　佐藤　トシ（87歳）
河北　中野　千代吉（76歳）
上野場　福田　キセ（78歳）
仲町　近藤　利吉（86歳）
上野場　福田　二力（93歳）

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き
＜平成26年6月30日現在／町民生活課調べ＞

男　4,905人（－7）／女　5,155人（－15）
合計　10,060人（－22）／世帯数　3,786（－7）
※（　）は前月比

転入　8人（114人）／転出　14人（176人）
出生　3人（26人）／死亡　19人（108人）
※（　）は1月からの累計

表紙のことば

第21回町ちびっ子健康マラソン大会（町体育協会、町陸上競技協会主催）が7月21日にハートフル・スポーツランド特設コースで開催されました。二戸地区の小学生590人が出場し、入賞や自己ベストを目指して暑さにも負けず元気に走りました。

■町内の連続出場表彰者
松橋駿人（軽米小）、松橋優人（軽米小）、鶴飼和也（小軽米小）、鶴飼彩稀（小軽米小）、原田みりい（小軽米小）

■町内の上位入賞者（3位以内）

2年生男子　第2位

宮川 陸人（みやかわ りくと）くん（軽米小）

3年生女子　第2位

内澤 明未（あみ）さん（軽米小）

4年生男子　第3位

関向 優真（ゆうま）くん（軽米小）

5年生女子　第1位

鶴飼 穂香（ほのか）さん（小軽米小）

ほっとひといき／編集後記

表紙、そしてこのページでも取り上げている軽米町ちびっ子健康マラソン大会。実は私、第1回大会の出場者でした。しかもそれから6年連続出場！初めの頃は入賞していたのに、参加者が増え、大会が大きくなるにつれどんどん順位は下がっていきましたが…。でも、いいんです。大切なのはそれぞれの目標に向かって全力で頑張ること！ですよね？（小笠原）

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302　九戸郡軽米町大字軽米10-85
電話　0195-46-2111(代)
FAX　0195-46-2335
ホームページ　http://www.town.karumai.iwate.jp/